

せん妄についてのご説明

🌸せん妄とは

入院などの環境の変化によって、脳が**一時的に**混乱を起こすことがあります。**認知症とはまったく異なる病気**です。注意深く観察し対応する事で、発症を予防、症状の軽減ができる可能性があります。

🌸せん妄になりやすい方の特徴

- 高齢の方
 - 体調が悪い
 - 手術の後
 - 新しい薬の影響
 - もの忘れが目立ってきた方
 - 脳梗塞や脳出血になったことがある方
 - 「せん妄」になったことがある方
 - アルコールをたくさん飲む習慣がある方
- など・・・

🌸せん妄がおきた場合は以下の様な症状があります (すべての方にみられるわけではありません)

- 時間や場所がわからなくなる
 - 幻覚がある
 - 睡眠のリズムが崩れる
 - ・眠れない
 - ・途中で目が覚めて眠れない
 - ・睡眠時間が極に短い
 - ・昼間に眠って、夜に眠れない
 - 落ち着きがない
 - ・何度もベッドから起き上がる
 - ・繰り返しどこかへ行こうとする
 - ・転んでしまう
 - 話のつじつまが合わない
 - 荒っぽくなったり、怒りっぽくなる
 - 治療のための管を「知らずに」抜いてしまう
 - 治療に必要な安静が保てない
- など・・・

患者様、ご家族の方へ協力をお願い

・せん妄の予防や発症しても症状が長引かないために、普段の生活に近い環境で過ごして頂くことが大切です。

・入院中、安心して過ごして頂くために、普段ご自宅で使っている物をできる範囲で結構ですのご準備ください。

- 時計
- めがね
- 補聴器
- 入れ歯・入れ歯ケース
- 家族の写真
- 趣味の道具
- 毛布やタオル
- ラジオ・新聞
- など・・・

※湯飲みなどのわれものはお控えください

患者さんと私たちが一緒にできること

・患者さんと一緒に確認していきます。

- 日時や場所の確認
- 話のつじつまが合っているか
- 夜眠れているか
- 幻覚がないか

・患者さんと一緒に行っていきます。

- 朝から日光をとり込んで部屋を明るくします。
- 普段使用されているめがね、補聴器、入れ歯を装着します。
- 時計、カレンダーなど近くに置いて一緒に日時の確認をします。
- 睡眠のリズムを整えるために、日中の活動の手助けとなる物を活用します。（本・新聞・ラジオ・テレビ）
- 痛み、便秘など、本人が気になっている症状は早めに軽減できるようします。
- せん妄が起こったら、患者さんの安全に配慮して対応します。

※可能な限りの対応を努力します